

行政評価シートの見方について

1. 施策評価シートの見方について

(1) 施策の担当

主管課名、関係課名。

(2) 総合計画における位置づけ

総合計画において、当該施策が属する政策と節を表記。

総合計画（後期基本計画）より、当該施策にかかる「基本方針」、「現況と課題」を転記。

対象をどのような状態にしたいのかという施策目標を表記。

(3) 市民ニーズ

平成24年5月実施のアンケート調査結果より、当該施策の「重要度」（偏差値）、「満足度」（偏差値）を転記。

(4) 施策にかかるコスト

施策を構成する評価対象となる事務事業にかかるコストを集計して、施策にかかるコストとして表示。

コストの内訳ごとの金額と財源内訳を示す。

(5) 施策の成果指標

施策の進捗を測定するモノサシとして設定された数値目標。単年度ごとの目標値と実績値、及びその達成度（%）を経年で示す。

指標設定の根拠、めざそう値の設定根拠は、指標の更新に合わせて説明。

目標達成・未達成の理由・背景は毎年事後評価として説明。

図表 成果指標の進捗状況をグラフで表示。

(6) 施策の事後評価

一次評価(担当課による評価)

以下①②③の3つの判定項目と構成事務事業の評価を鑑み、④の基準で総合評価を担当課が記入。

① 施策の成果レベル

施策評価指標の分析から施策を4点満点で評価する。

所見には評価理由や今後の方向性等を記入

4点：達成度が100%以上

3点：90～100%未満

2点：80～90%未満

1点：80%未満

②施策に対する市民ニーズ

アンケート結果より3点満点で評価する。
所見には評価理由や今後の方向性等を記入。

- 3点：満足度偏差値5.5以上
- 2点：満足度偏差値4.5～5.5未満
- 1点：満足度偏差値4.5未満

③施策を取り巻く状況（法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など）

施策を取り巻く状況を3点満点で評価する。
所見には評価理由や今後の方向性等を記入。

- 3点：施策を後押しする社会状況にある
- 2点：施策と関連する社会状況に変化はない
- 1点：施策にマイナスの影響を与える社会状況にある

④総合評価の基準

以上の判定項目と構成事務事業の評価等を鑑み、主管課が総合的に評価。

- A：計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
- B：ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
- C：目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
- D：目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)

政策推進課及び行財政管理課が、一次評価の総合評価と同じ4段階評価及び所見にて評価します。

三次評価(理事者による評価)

理事者が一次評価の総合評価と同じ4段階評価及び所見にて評価します。

(7)施策を構成する事務事業

①予算コードと事務事業名を表示

②事業費（27年度実績）：評価年度の事業費、人件費（事務事業評価より転記）および一般財源額と平成28年度予算額を記述。

③1次評価：事務事業評価より担当課による1次評価を転記。

④事務事業の評価対象について

事務事業の内、人件費事業、車両管理事業を除いた全事務事業を対象とする。
ただし、その事務事業のうち、一般事務事業、基金積立事業、繰出金事業、負担金事業、返還金事業、公債費事業、一借事業、繰上充用金、保険給付事業、企業会計、投資事業については、評価はなしとする。